



● インフルエンザと予防接種

内科(小児科)

桑原 大彦



今年もインフルエンザの季節がやってきました。

さて、皆さんは予防接種が大切なことはすでにご存じと思いますが、今シーズンからワクチンの用法、用量が変更になったことは知っていますか？

前シーズンと何が変わったかという、

1. 生後6か月未満は適応なし
2. 6か月から3歳未満は一回接種量が0.25mlに増量
3. 3歳から13歳未満は一回接種量が0.5mlに増量
4. 6か月から13歳未満の二回接種の間隔がおおよそ2～4週



要するに、子どもの接種量が増えたということですね。

実は海外では以前からこの用量(WHO推奨量)ですが、日本では量が少ないため小学生までのインフルエンザワクチンの有効率は諸外国の半分ぐらいしかありませんでした。今回の変更で、特に小さい子どもたちのインフルエンザの流行が減ることを期待したいと思います。

予防接種だけではインフルエンザは防げません。手洗いとうがいをおこなって、栄養をしっかり摂ることで、インフルエンザに負けない体力もつけましょう。



.....インフルエンザ予防接種実施のご案内.....

【予約】 受付窓口、電話

【費用】 ①越谷市に住所を有し、下記に該当する方

・65歳以上

・60歳以上65歳未満で身体障害者1級を持っている方

1000円(税込)

②一般の方(越谷市以外に住所を有する方、65未満の方)

1回目・・・4000円(税込)

2回目・・・3000円(税込)※中学生以下のみ



予防接種は予約制です。詳しくは受付窓口でおたずねください。

病院理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。

PACS導入
しました！！

PACSとは
PACS (Picture Archiving and Communication System)の略で、
医療用画像管理システムの事です。

AMG電子化の流れによって、当院でも電子化の第1弾として、院内で扱う画像検査を院内の
何処にいても見れるようにしたのがPACSです。たぶん、外来の診察室や病棟で先生方がパ
ソコンの画面にて診断しているのを見たことがあるでしょう！ あれです！
放射線科で行う、X線写真やCT、バリウムの胃検診などすべての検査、内視鏡の画像、検査
科の超音波の画像を見ることが出来ます。画像の濃度を変えたり、拡大したりと自由に変更が
可能となり医療の質も向上しました。また、以前のようにフィルムを取りにいったりする業務が
なくなったり、紛失したりするリスクもなくなりました。

放射線科 笹川 拓也

救急車同乗研修



昨年より、救急車同乗研修が始まり、今年で2回目となりました。

救急車は指令を受け現場へ向かい傷病者を病院へ搬送する事と理解していましたが、搬送
されるまでの動きを身をもって学ぶ事で、スムーズな受け入れ態勢がとれるようになる事を目
的として研修に参加しました。

救急外来の経験も浅い私は、要請を受けても現場の様子を理解もアセスメントもできず、救
急隊に言われる状況をただ医師に伝えるという「伝言役」でしかありませんでした。最初はこの
研修に参加する事がすごく不安でした。しかし同乗させていただく以上できる事はやらせて
もらおうという気持ちで参加しました。

医療機器もできる行為も限られている現場では、優先順位を考えて行動することが大切です。
初めはできるだけ早く病院に搬送し、適切な治療が行われるようにする事を第一に考えて
いました。しかし、「傷病者の状態に合わせて病院を選定する」というトラウマバイパスを考え
て搬送することが、より重要であることを学びました。

また、現場での活動を知るだけでなく救急隊と1日行動を共にする事で、救急現場での考え
方も知ることができ、看護師として病院での受け入れを行う際、以前よりもスムーズにできる
ようになった気がします。 出動指令がない時は救助訓練をして救助活動に備えています。器
具の使い方を教えてもらったり訓練をさせてもらったりと今年も学びの多い研修となりました。

来年も同乗させていただき、医師、看護師、技
師、救急隊が1つのチームとなり、救急患者
の治療や苦痛の軽減ができる体制がとれるよ
う、私自身もスキルアップをしていきたいです。
今後は外来看護師だけでなく病棟看護師や
他職種者も同乗研修に参加して地域の救急
現場で学んでほしいと思います。



外来看護師
入沢 久美子



診療統計 平成23年7月～9月(月平均)

■ 外来延べ患者数	15,104名(5,305名)
■ 入院延べ患者数	15,460名(5,153名)
■ 一日平均外来患者	198名
■ 救急搬入数	407名(135名)
■ 紹介患者数	401名(133名)
■ 手術件数	262件(87件)
■ 内視鏡件数	299件(99件)